糸島市社協ニュース
みんなのふくし
第83号
2025.8
（令和7年8月1日発行）

「安心・協働・共生～あなたの側（そば）にずっと寄り添う社協～」

■編集・発行　糸島市社会福祉協議会　糸島市潤一丁目22番1号　電話092（324）1660
ホームページ　www.itoshima-shakyo.or.jp/　メールアドレス　itoshaky@view.ocn.ne.jp

第13回糸島市社会福祉大会開催

大会テーマ：孤立する子ども・若者に寄り添う地域社会を目指して

だれもが住み慣れた地域で安心して生活することができる「地域共生社会」の実現に向け、社会福祉の充実・発展に功労のあった団体の表彰や講演による地域福祉活動の学びを通して、今後の社会福祉進展のための啓発を目的に開催します。

【期日】　令和7年9月27日（土）　申込不要
【時間】　13:30開会（受付13:00）
　　　　　15:30終了予定
【場所】　伊都文化会館 多目的ルーム

●手話通訳　●要約筆記あり
来場者には日本赤十字社グッズのプレゼント（なくなり次第終了）

【大会内容】
◆地域団体・福祉団体の表彰
◆受賞団体の紹介・活動事例発表
◆演題　「どんな境遇の子どもも見捨てない！
　～社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立に向けて～」

◆講師　谷口 仁史さん
（認定特定非営利活動法人 スチューデント・サポート・フェイス 代表理事）
「佐賀県子ども・若者総合相談センター長」
「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰『内閣総理大臣表彰』受賞」

前回の優秀賞　フードバンク糸島Happiness

前回の優秀賞　九州大学BBS会

今年は大阪万博でも話題の、Hondaの体重移動で操作可能なモビリティロボット「UNI-ONE（ユニワン）」が登場します。

詳細は、みんなのふくし10月号と市社協ホームページにて発表します。

運営補助に関わってくださる学生ボランティアを募集します。

【活動日時】　11月23日（日）　8:30～16:00
　　　　　　※イベントは10:30～15:00
【場所】　市健康福祉センターあごら（潤1-22-1）
【対象】　中学生・高校生・大学生
【定員】　20人程度
【活動内容】　会場準備・片付け、受付、出展ブース運営補助など
　　　　　　当日のみの活動です。
【申し込み締め切り】　8月29日（金）まで
【申し込み・問い合わせ先】
市社協 地域課 電話（324）1660またはQRまで

法律・心配ごと相談
【あごら：潤1-22-1】（事前予約制）　毎週火曜日 10時～12時　☎（324）1660
※相談員：弁護士、民生児童委員 ※月曜日は休館日のため予約・受付はできません。※8月12日,9月16・23日は休み

「みんなのふくし」の朗読CDを希望の方は、無料で郵送いたしますので、ご連絡ください。

令和6年度の糸島市社会福祉協議会事業報告・収支決算報告

【事業報告】

令和6年度に実施した主な地域福祉事業は次のとおりです。

(1)小地域福祉活動の推進

見守り台帳の整備では、校区社協を通じて、高齢者をはじめとする見守り活動を実施し、70歳以上の新規該当者325人に、聞き取り調査を実施しました。

また、小地域ネットワーク福社会への支援では、福祉会同士の協議の場を設け、情報の共有や活動継続のための方向性等について意見交換を行いました。

(2)地域福祉活動計画の推進

分野ごとに事業を遂行し、推進委員会において進捗状況の報告を行いました。また、次期活動計画の策定に向け、福祉団体等に対するアンケート調査を実施し、団体等が抱える課題や要望等についての把握に努めました。

(3)地域ささえあい会議の充実

会議の運営支援や会議の方向性について、校区社協と地域包括支援センターに配置される第2層生活支援コーディネーター、市役所職員、市社協コミュニティソーシャルワーカーで地域課題の把握や課題解決に向けた取り組みについて協議を行いました。

(4)ボランティア活動・福祉教育の充実

ボランティアセンター事業では、市民のボランティアに関する啓発やボランティアとボランティアを求めている人とのマッチングを行いました。

また、「いとしまFun2024」を開催し、ボランティア相互の交流をはじめ、ボランティア意識の向上や活性化を図りました。

(5)重層的支援体制整備事業の推進

重層的支援体制整備事業では、多機関協働事業で複合化・複雑化した課題を抱える世帯への相談支援を実施し、相談支援機関との連携による相談者に寄り添った支援の充実に取り組みました。

また、支援者への取り組みでは、支援者同士の顔の見える関係性作りや相談に対し複合的に対応する意識づくりに努め、重層事業に係わる関係者に対し、事業をわかりやすく解説したパンフレットを作成し広く周知を図りました。

多機関協働事業や参加支援事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の推進については、基幹型地域包括支援センター、障がい者相談支援センター等と連携し、重層的支援会議に参画して情報の共有に努めました。

ふれあい生きいきサロンの推進では、高齢者の閉じこもりや生きがいづくり等に特化した運営に限らず、地域の中の子育て中の親子や障がいのある人で社会参加の機会が少ない方なども、参加できるサロン運営の推進に努めました。

(6)権利擁護事業の充実

令和6年度から設置した「糸島市成年後見センター」利用促進のための周知を図るとともに、職員のスキルアップを図る研修等に積極的に参加し、適切な後見人支援が行えるよう努めました。

日常生活自立支援事業及び法人後見事業では、市民後見人養成研修修了者による市民支援員の活動において安定した支援が実施できました。

(7)安定した介護保険事業等の運営

介護保険事業等では、虐待防止・身体拘束適正化検討委員会により、虐待や身体拘束等の防止について認識を深めるとともに、介護職員の研修会を積極的に開催し虐待等に関する意識の向上を図りました。また、利用者及び家族への周知を図り、安心して利用していただける施設環境づくりに努めました。

(8)財政運営の適正化

令和6年度の一般会計資金収支決算は、事業活動による収入8億4766万円、事業活動による支出8億5756万円で、事業活動資金収支差額マイナス990万円となり、施設整備等による資金収支差額はマイナス128万円と全国社協の退職積立金の支出50万を差し引いた当期資金収支差額はマイナス1168万円でした。

(9)発展強化計画の推進

給与明細のペーパーレス、職員間の情報共有グループウエアサイボウズの導入など業務の効率化を図りました。また、職員に向けファンドレイジング研修などを実施しました。

(10)災害支援対策

多発する自然災害等により、本市において甚大な被害が発生した場合を想定した災害ボランティアセンターの設置運営訓練を福岡県社協、糸島市、糸島青年会議所、糸島ライオンズクラブ等の協力を得て実施しました。

令和6年度事業報告の詳細につきましては、市社協ホームページをご覧ください。

第6回いとしま在宅ホスピス市民公開講座

認知症の人とともに暮らすということ

◉**日時**／8月30日(土)
14：00～16：00
◉**会場**／市健康福祉センターふれあい
(志摩初)
◉**講師**／村瀬　孝生さん
(よりあい統括所長)
◉**参加費**／無料
◉**定員**／100人
◉**主催・問い合わせ先**
いとしま在宅ホスピスの会
ヴィオラ(事務局・担当　三苫)
電話 (322) 2801
＊申し込み用紙をあごら、各コミュニティセンターに設置しています。

市民講演会「自分で決める 自分の未来 任意後見制度」

認知症など将来の不安に備えて、あらかじめサポートしてもらう任意後見制度を学びます。

◇終活の一環として
◇障がいのある子どもの将来に備えて

◉講師／弁護士 岸野 慎司さん（福岡伊都法律事務所）
◉日時／9月6日(土)
10:00～12:00（受付9:30～）
◉会場／糸島市役所1階市民ホール
◉参加費／無料
◉定員／70人（先着順）
◉申し込み締め切り／8月22日(金)
◉問い合わせ・申し込み先／市社協
糸島市成年後見センター（あごら内）
電話（321）0266
＊センターでは成年後見制度に関するご相談を受け付けています。

「福祉教育サポーター」養成講座開催

糸島市社会福祉協議会では、地域での市民講座として「ふくしについて学ぶ」福祉教育の実践に取り組んでいます。

対象は、子どもから大人まで、主な実施場所は、小学校や地域の団体等です。

サポーターの登録については、講座後にご検討いただけますので、ご興味のある方はぜひお気軽にご参加ください。

◉日時／10月21日（火）　13：30～15：30
◉会場／市健康福祉センターあごら
◉内容　①「福祉教育」とは？
②糸島市内での取り組み
③活動の模擬体験（車いす・アイマスク体験）
◉定員／20人
◉申し込み締め切り／10月17日（金）
◉申し込み・問い合わせ先
市社協　電話（324）1660
メール　itoshaky@view.ocn.ne.jp

聞こえる方も聞こえに不自由を感じている方も「聞こえのサポーター講座」書いて楽しく おしゃべりしましょう

◉日時／9月13日(土) 10：00～12：00
◉場所／糸島市役所会議室101・102
◉内容／お話「聞こえにくさの理解と目で見るコミュニケーション」、難聴の方の体験談・筆談体験など
◉参加費／無料
◉定員／30人（先着順）
※手話通訳 要約筆記あり
筆談用ミニホワイトボード（手作り）プレゼントつき
◉問い合わせ・申し込み先／糸島市役所 地域福祉課
電話（332）2073　FAX（321）1139
E-Mail:chiikifukushi@city.itoshima.lg.jp

地域ささえあいサポーター養成講座

受講生募集

地域ささえあいサポーター
生活支援が必要な高齢者のお手伝いするボランティア
・買い物・ゴミ出し　他

これからの社会はささえあい社会。暮らしのちょっとした困りごとを地域でささえる仕組みやサポーターが求められています。講座ではサポーターに必要な知識や心得・技術などを学びます。

受講することが、支える側の認知症や介護の予防にもなり、楽しく生きがいのある生活につながると実感できる講座です。

開催日	講座内容
①9月12日(金)	開講式、生活支援・介護予防
②9月26日(金)	認知症
③10月10日(金)	コミュニケーション、閉講式

◉会　場　南風コミュニティセンター
◉講　師　特定非営利活動法人 介護予防で日本を元気にする会　大群（おおむれ） 千鶴さん
◉対　象　身近な地域での高齢者の生活支援に関心がある人
◉時　間　10：00～12：00
◉定　員　24人
◉申し込み締め切り　9月5日（金）
◉申し込み先　市社協　電話（324）1660
FAX（324）3166

受講料無料 託児無料

ボディソープが寄贈されました

株式会社yokayo(よかよ)(代表取締役篠田麻里子)様から6月14日、ボディソープをご寄贈いただきました。

株式会社yokayoは、元AKB48の篠田麻里子氏が2022年7月7日に設立したスキンケア製品を取り扱う化粧品会社です。

自身の妊娠をきっかけに、健康な肌を育てる予防スキンケアに着手。子育てに役立ててもらいたいとの思いから、このたび出身地である糸島市と糸島市社会福祉協議会へ寄贈されました。

今回、本会に寄贈いただいた558本は高齢者、障がい者施設への配布や、本会の地域福祉推進する事業など、有効に活用させていただきます。

《糸島市地域づくり事業》

いとしまみらいトーク

～"あったらいいな"をかたちにする大作戦～

これからの地域での暮らしを豊かにする企画をつくり、実施をめざす全2回のワークショップを開催します。

あなたの思う糸島の未来や福祉のかたちについて、一緒に考えてみませんか？

◆日時　①9月6日(土)13:30～16:30
②9月13日(土)13:30～16:30

◆会場　市健康福祉センターあごら 視聴覚室ほか

◆講師　NPO法人ドネルモ 山内さん、迫田さん

◆内容

【1日目】　話し合いのやり方講座（ファシリテーション体験ワーク）

【2日目】　自分のやりたいことを見つけるグループワーク、ミニ発表会

◆対象者　何かを始めるきっかけや仲間づくり、地域や地域住民と関わりたいと考えている人

◆参加費　無料

◆定員　30人(事前申込必要・先着順)

◆申し込み期限　8月30日(土)

◆申し込み方法　電話または申し込みフォームよりお申し込みください。

◆申し込み・問い合わせ
市社協 地域課 電話092(324)1660

NPO法人ドネルモ「とびこむ・ひらく・くみかわる」をモットーに、超高齢社会におけるつながりや誰かと関わることで一人ひとりの可能性が豊かになる仕組みづくりを行政や企業、NPOや地域等、いろんな人たちと一緒に様々な課題に取り組んでいます。

香典返し

ご厚意による香典返しや寄付金等は、高齢者や児童・障がい者など地域福祉をささえる大切な財源として、本市でのさまざまな福祉事業に役立てられています。

皆さんの温かいご厚意に心からお礼申し上げます。

一般寄付

寄付金は社会福祉の充実に役立てます。
ご厚意ありがとうございました。(敬称略)

○匿名（2回目）　3000円
○匿名　7000円
○匿名　10000円
○匿名（3回目）　5000円
○るんびにこどもえん
○㈱yokayo
○特定非営利活動法人つむぎ　21000円
○匿名（4回目）　5000円
○前原ダイキュー運輸株式会社様より、お米や飲料等のご寄付をいただきました。

糸島市社協は、地域の課題を解決するためにさまざまな取り組みを行なっています。
ぜひ、ご寄付という形で私たちの活動を支えてください。